

新しい公益事業の 実現を目指して

◆新たな経営理念の策定

当社では、「経営理念」において、当社および当社グループの「使命」、「お客さま・社会に対する基本姿勢」および「企業としての行動基準」を示している。現在の「経営理念」は従来の経営理念を本年四月に見直したものである。

この見直しの理由・背景は、当社および当社グループを取り巻く事業環境の急激な変化とその対応にあった。今後のエネルギー市場における規制緩和の一層の進展により、自由化がさらに進展し、エネルギー間の大競争が本格化するなど、都市ガス事業を取り巻く環境はますます厳しいものになってくると予想されている。

こうした中であって、当社および当社グループが二一世紀に確実に発展していくために、「公益事業としてお客さまと地域に貢献していくこと」と「株式会社として企業価値を増大すること」の二つの使命を同時に満足させる「新しい公益事業」の実現を目指した「中期経営計画」を一九九九年度に策定し、現在グループ一丸となって鋭意取り組んでいるところである。

そこで、今回、これらの経営環境の変化を踏まえつつ、「中期経営計画」のベースとなる考え方を織り込み、「新しい公益事業の実現を目指す企業としての行動基準」として新たな「経営理念」を策定したものである。

◆良き企業人・社会人として確固たる倫理観を

併せて、「経営理念（II企業としての行動基準）」を実現していくための具体的な行動内容を示すものとして、

「役員・社員の行動基準」を作成し、「役員・社員全員が確固たる倫理観をもって行動する」旨を明らかにするとともに、「遵守のための具体的な行動例」を作成し、日常の行動レベルとしてわかりやすいものとした。

さらに、「行動基準」は、作成することに意義があるのではなく、社員一人ひとりの意識の中に浸透することに意義があることから、マネージャー以上を対象に説明会を実施するとともに、社内イントラネットに掲載し周知を図っている。

経営理念=企業としての行動基準

- 東京ガスグループは、「総合エネルギー産業」として「快適な暮らしづくり」と「環境に優しい都市づくり」に積極的に貢献し、あらゆる事業活動を通じ、お客さまや株主、地域から信頼される「企業グループ」として、社会とともに「限らない発展」を実現していく。
- 一、「公益事业としてお客さまと地域に貢献していく」と「株式会社として企業価値を増大させていく」ことを同時に満足させる「新しい公益事業」の実現を目指す。
 - 二、法令およびその精神を遵守し、公正かつ透明な企業活動を通じて経済・社会の発展に貢献する。
 - 三、トップランナーとして、地球環境問題の改善に貢献する。
 - 四、良き企業市民として奉仕の精神を深く認識し、社会貢献活動を通じて豊かな社会の実現に貢献する。
 - 五、絶えざる革新により、低コスト構造で、しなやか、かつ強靱な企業体質を実現する。
 - 六、一人ひとりの「能力・意欲・創意」の發揮と尊重により、「活力溢れる組織」の実現を目指す。

(東京ガス 総合企画部)